

鎌倉市スマートシティ官民研究会の開催趣旨

＜＜背景＞＞

令和2年4月からスタートした「第4期基本計画実施計画重点事業」における今後6年間の事業工程

- ▼ 本市のスマートシティの構築に向けた方向性を定める構想を策定する（令和2年度、令和3年度）
- ▼ 構想の策定と並行し、市民の理解とまちづくりへの参画を促す取組を進める
- ▼ 各ステークホルダーとの共創関係による推進体制を整備する

＜＜目的＞＞

複雑・高度化する本市の社会課題に対して、行政だけの力で解決することは不可能

- ▼ 本市の課題解決に向けて、民間企業が持つテクノロジーの導入の可能性を広く議論することで
- ▼ 官民連携の取組を加速化させ、社会課題のスピーディーな解決を目指す
- ▼ 共創関係によるスマートシティ構築のためのプラットフォーム

『SDGs共生みらい都市かまくら』の実現に向けて

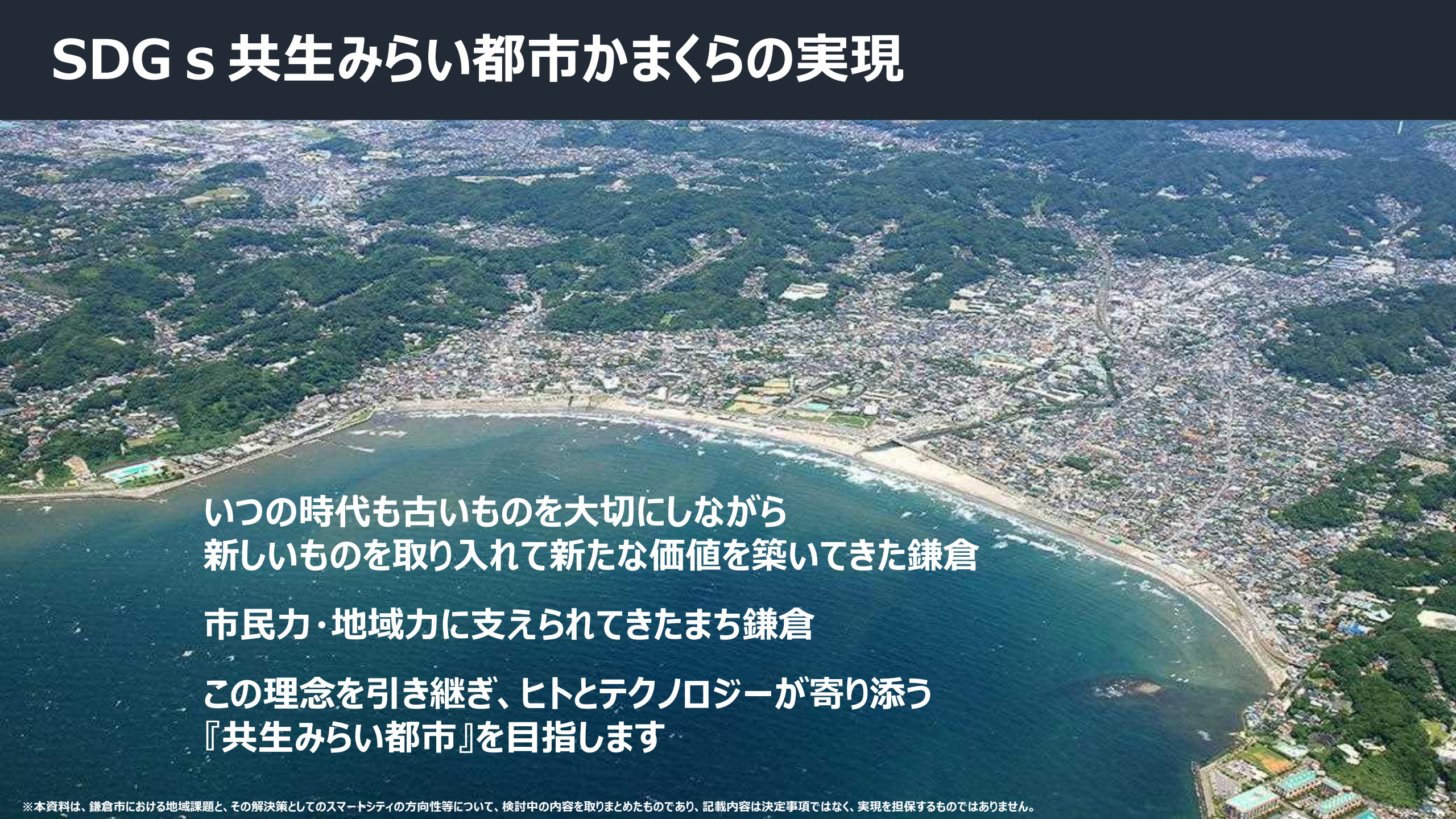
鎌倉市について



面積 : 39.67km² / 人口 : 約17万人
高齢化率 : 30.6%



SDG s 共生みらい都市かまぐらの実現



いつの時代も古いものを大切にしながら
新しいものを取り入れて新たな価値を築いてきた鎌倉
市民力・地域力に支えられてきたまち鎌倉
この理念を引き継ぎ、ヒトとテクノロジーが寄り添う
『共生みらい都市』を目指します

Kamakura Switch

既成概念に基づくと一見対立すると思われる概念や存在の双方の特徴を交換してみる。
そこから発見される洞察をもって、単純な対立を超えて課題に向き合うアプローチ

概念的には両立しえない（見えない障壁がある）と考えられるものを、
テクノロジーの活用により両立させ、市民のQ o Lの向上とともに、
真の共生社会の構築を目指します。

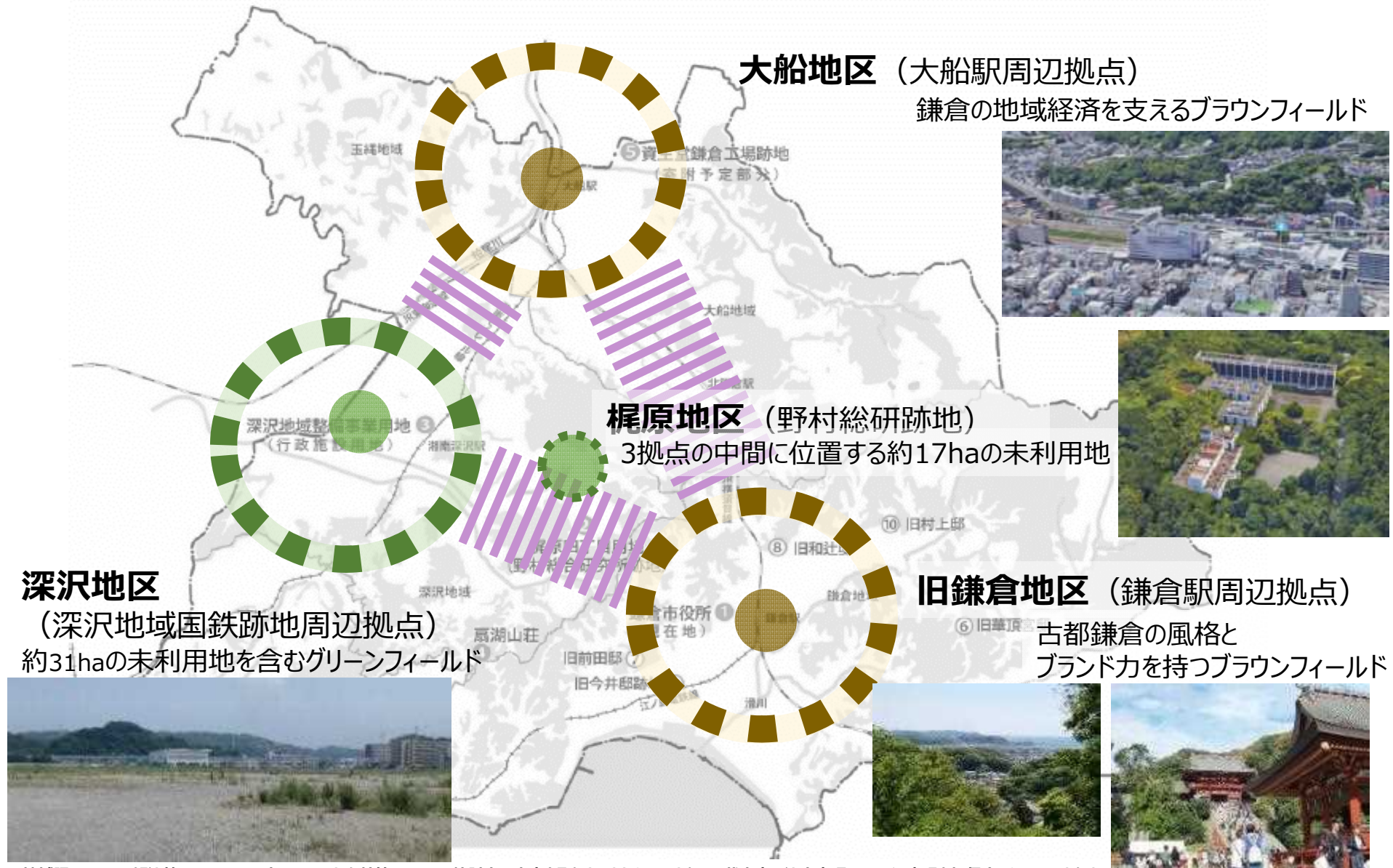
世界に誇る豊富な歴史的遺産
海と山に囲まれた魅力的な風景



防災・減災、市民の安全・安心
快適な移動、利便性

市民と旅人
シニアと若者
障がいがある人となない人
人間とAI
新しいものと古いもの …

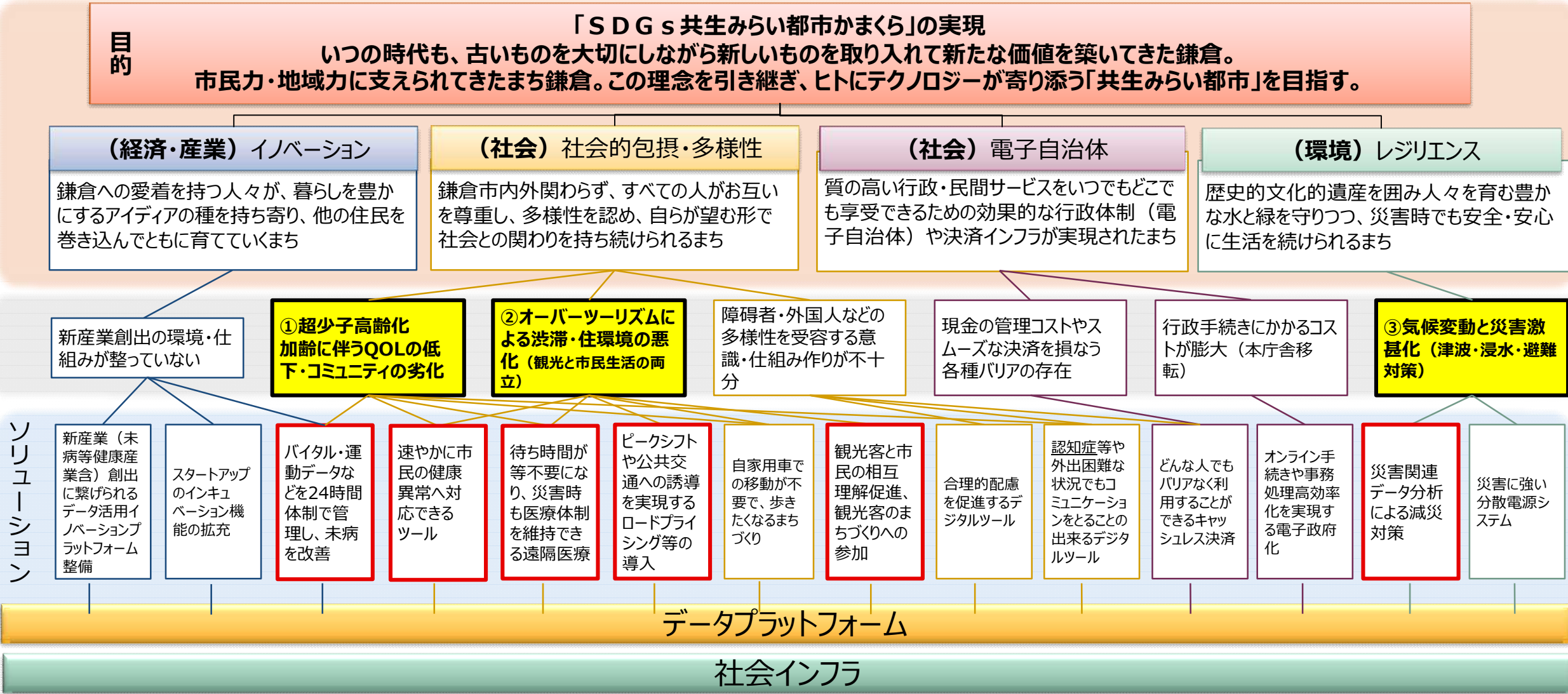
鎌倉のまちの骨格



※本資料は、鎌倉市における地域課題と、その解決策としてのスマートシティの方向性等について、検討中の内容を取りまとめたものであり、記載内容は決定事項ではなく、実現を担保するものではありません。

見えてきた地域課題・方向性

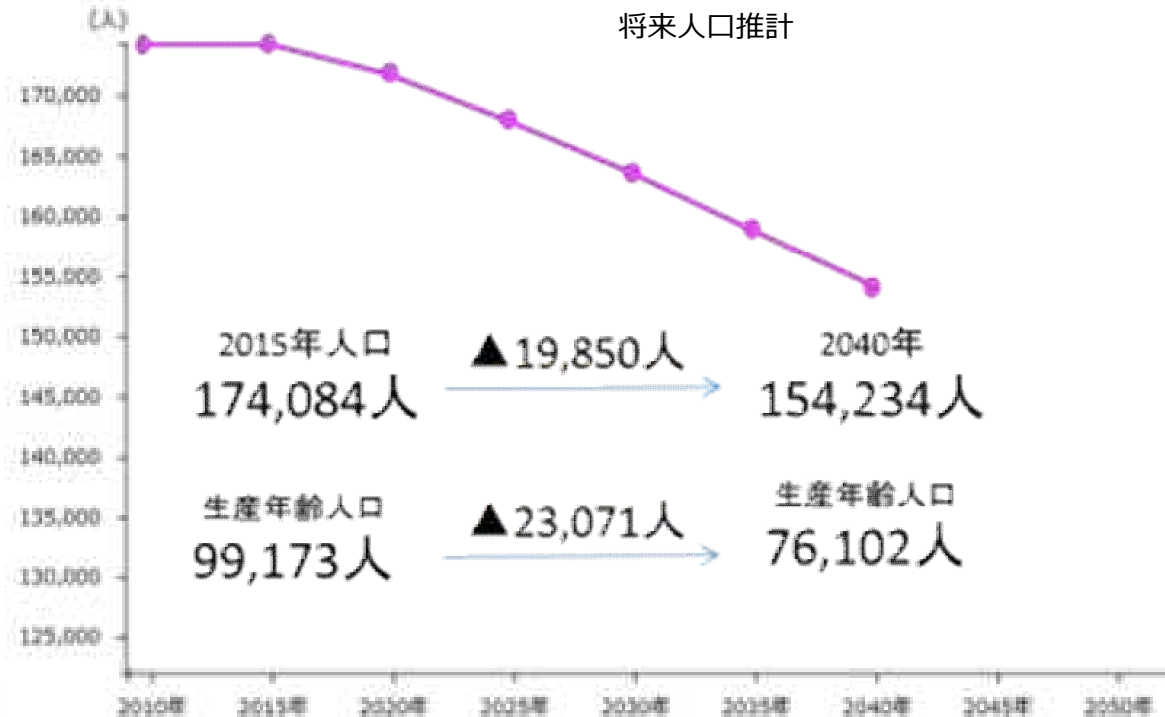
※以下の地域課題は、若手プロジェクトチームが検討した内容であり、本市のすべての地域課題を網羅したものではありません。今後この内容の精査し、検討を深めていく予定です。



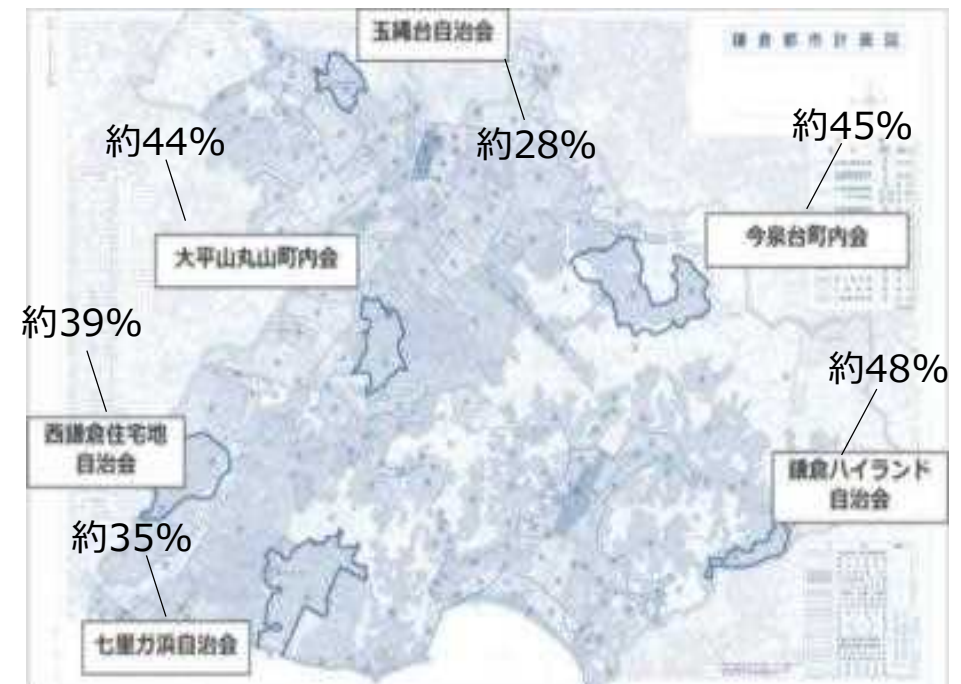
※本資料は、鎌倉市における地域課題と、その解決策としてのスマートシティの方向性等について、検討中の内容を取りまとめたものであり、記載内容は決定事項ではなく、実現を担保するものではありません。

地域課題① 超少子高齢化

- ✓ 今後、人口減少・超少子高齢社会、そして生産年齢人口の減少傾向が続く
- ✓ 高度経済成長期に大量に造成された斜面地住宅団地（人口密集地）が大規模なものでも6箇所存在
・・・中には高齢化率約50%の地域もあり、都市型の超少子高齢化が本市のあらゆる課題のベースとして影響
- ✓ 右肩上がりの高度経済成長期を前提にした現在の社会システムでは、この先の時代を乗り切ることができない
・・・特に子ども、障害者、高齢者等のいわゆる社会的弱者の「安全・安心」「健康」などを守ることがこれまで以上に必要

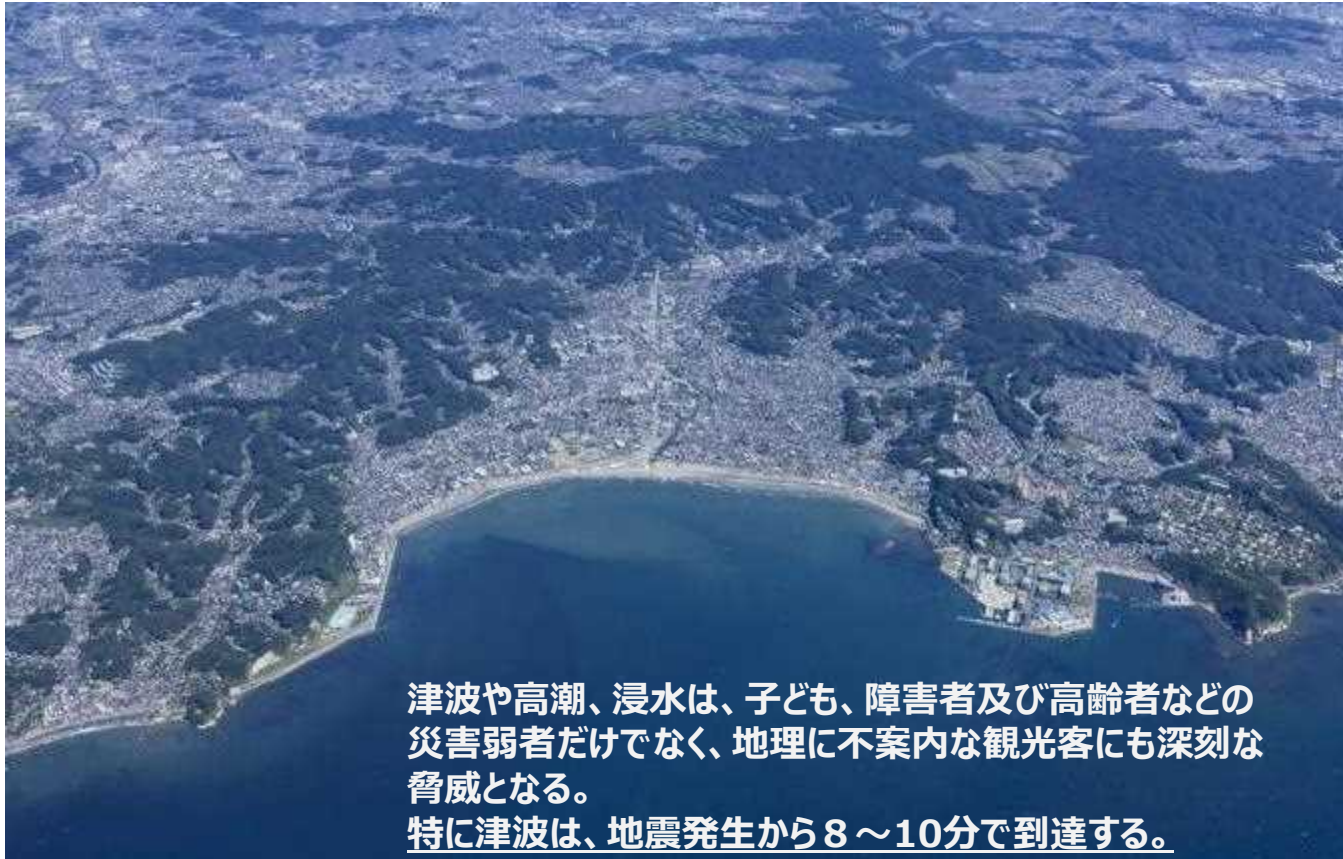


斜面地住宅団地の高齢化率（令和元年9月時点）



地域課題② 気候変動と災害激甚化

- ✓ 三方を山に、一方を海に囲まれた豊かな自然景観に加え、多くの社寺仏閣をはじめとした文化的・歴史的遺産が特徴
- ✓ 近年の台風等の自然災害により、鎌倉の地理的・文化的特性の脆さが露見
 - …市民や観光客が密集する地域において、倒木・土砂崩れ・停電などが発生
 - …貴重な文化財の倒壊や高齢化地域の孤立などの被害も発生



■ 令和元年9月9日の台風15号による被害

- ・建物被害 全壊2棟、半壊15棟
- ・がけ崩れ 101件、倒木 558件
- ・道路冠水 6件、浸水 12件
- ・停電 9月9日から12日にかけて最大11,200軒で発生
- ・文化財 史跡永福寺跡、円覚寺庭園、鶴岡八幡宮の国指定史跡
国指定重要文化財の光明寺本殿などで被害

地域課題③ 観光・交通の適正化

- ✓ 年間2000万人近い観光客が来訪することにより
 - …深刻な交通渋滞や緊急車両の到着遅延など、市民生活に不利益と不便、不安を与えている
 - …外国人を含む多様な人の滞在により、ごみの減量や災害時対応など、様々な面で観光客との共生が課題
- ✓ さらに、with&afterコロナを見据え、観光客と市民双方の安心安全の確保が求められる

	入込客数（千人）	面積（Km）	人口（千人）	面積当たりの入込客数（千人）	人口当たりの入込客数（人）
鎌倉市	22,925	40	177	573	130
京都市	56,840	828	1,417	69	40
奈良市	14,976	277	363	54	41
日光市	11,957	1,450	84	8	142

面積当たり：約 573,000人
人口当たり：約 130人

人口・面積に対する
観光客数が突出して高い



深刻な交通渋滞



観光客であふれる道



公共交通機関の大混雑

withコロナ時代の行政のDX

現状と課題

- ✓ 各種行政サービスの手続きで来庁することにより、市役所内に来庁者が密集し、ソーシャルディスタンスの確保が困難
- ✓ 紙での手続きによる膨大な事務作業の発生、書類の手戻り、手続き完結までの大幅な時間が必要
→ 来庁せずに迅速に手続きを進められるテクノロジーの早急導入が喫緊の課題

〇市ホームページでの紹介

市役所に来庁しなくてもできる手続きがあります

新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、市民の皆様におかれましては、市役所へ来庁せずに行える手続きを御利用いただき、市役所の混雑緩和への御協力をお願いいたします。

なお、転入や転居などの8つのライフイベントに関して、行政手続きが事前に分かる「[くらしの手続きガイド\(外部サイトへリンク\)](#)」を市ホームページや市公式LINEで提供しています。簡単な質問に答えるだけで、一人ひとりの状況に応じた手続き内容や手続きに必要な書類などが分かりますので、お役立てください。

- ◆ [住民票・戸籍関係](#)
- ◆ [税関係](#)
- ◆ [母子保健関係](#)
- ◆ [こども関係](#)
- ◆ [医療費助成関係](#)
- ◆ [国民健康保険関係](#)
- ◆ [介護保険関係](#)
- ◆ [環境・ごみ関係](#)
- ◆ [犬の登録関係](#)
- ◆ [情報公開・個人情報保護関係](#)
- ◆ [住居表示関係](#)
- ◆ [地方自治法に係る予防関係届出書類等の郵送による受付について](#)
- ◆ [その他](#)

鎌倉の地理的特徴

- ✓ 市域が狭く、市内でも逗子市や藤沢市、横浜市に隣接する地域では、生活圏が市域をまたいで行われているのが現状

これから

- ✓ 今後の人口減少社会に向けて、公共施設の再編や都市計画上の立地適正化を進めていく
- ✓ 市民がいつでも、どこでも質の高い行政・民間サービスを享受できるよう、効果的な行政体制（電子自治体）や決済インフラの実現が必要

withコロナ時代のデジタルデバйд対策

現状と課題

- ✓ 新型コロナウイルス流行の影響→地域での市民活動に大きな制約（社会的距離の保持→地域活動が展開が不可欠）
- ✓ 町内会など地域活動の主軸を担う多くの高齢者→遠隔でのコミュニケーションを可能にするデジタルツールの活用に課題



これまでの取組と分析

令和元年度から鎌倉リビングラボなどの活動を通じ、高齢者の「デジタルデバйд対策」に取り組んでいる

- ✓ 一過性のスマホ・タブレットの使いかた教室を実施しただけでは、デジタル機器の操作が生活に定着しづらい・・・×
- ✓ 身近なコミュニティの中で、気軽にデジタル機器の使い方を教えあう環境づくりが有効・・・○



これからのデジタルデバйд対策

- ✓ 既に地域からは、オンライン会議開催の技術的支援の要望が出ている
- ✓ 一部地域では、ZOOM等を活用してオンライン会合が開かれ始めている

地域の様々な年代が、デジタル機器を通じてつながり、支えあう環境を作ること、地域活動を活発化し、高齢者を中心とするデジタルデバйдと呼ばれる人々の暮らしをより豊かにしていく



グリーンフィールドとブラウンフィールドによる立体的組立

- ✓ 鎌倉市では、複数のブラウンフィールド（旧鎌倉地区、大船地区など）と、これから開発を進めるグリーンフィールド（深沢地区）の両方を市域に有していることが大きな特徴

旧鎌倉地区や大船地区などのブラウンフィールドで発生している

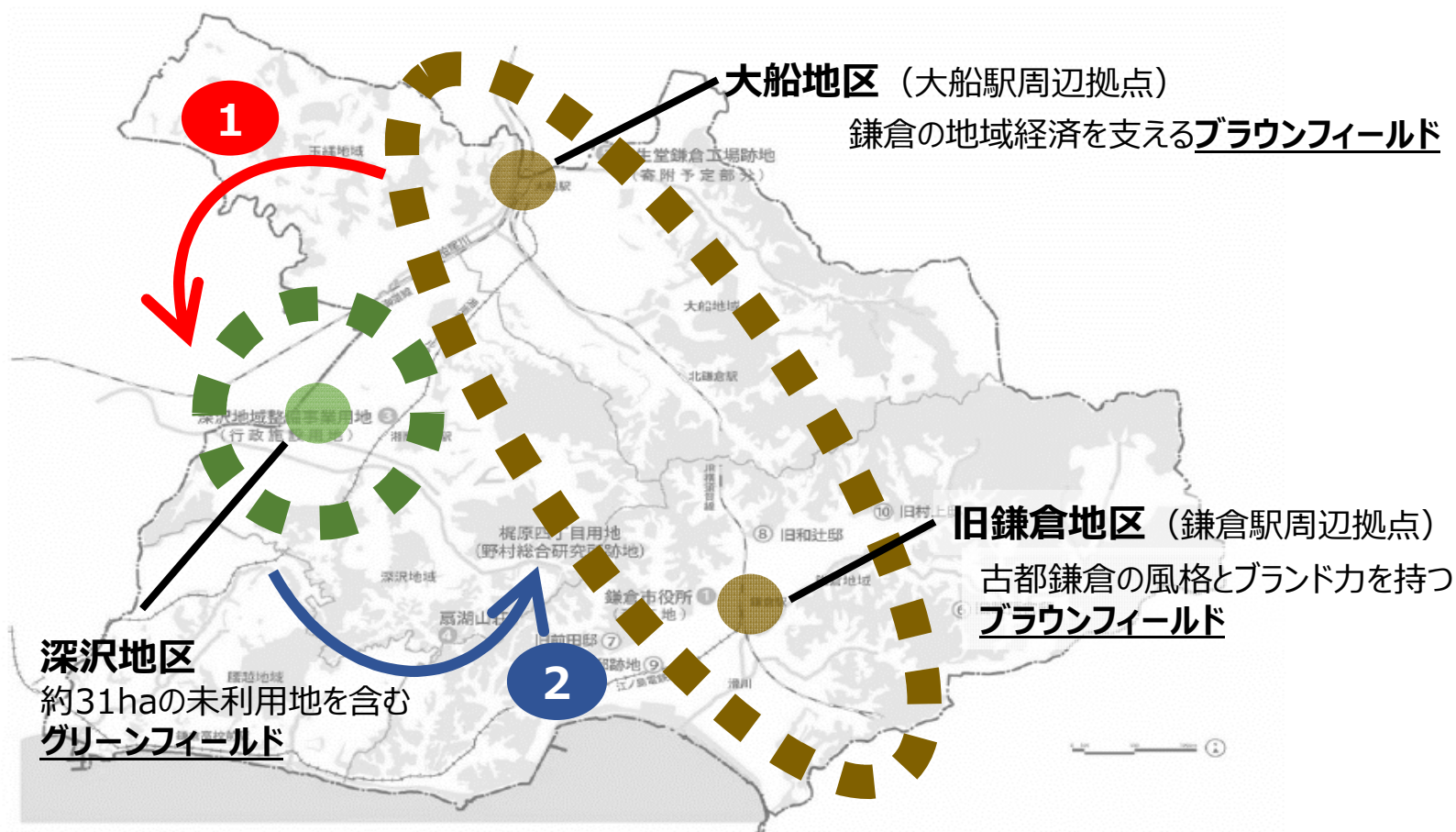
①災害激甚化、②観光・交通の適正化、③超少子高齢化などの地域課題に対し、テクノロジーを活用し先行して取組む

1

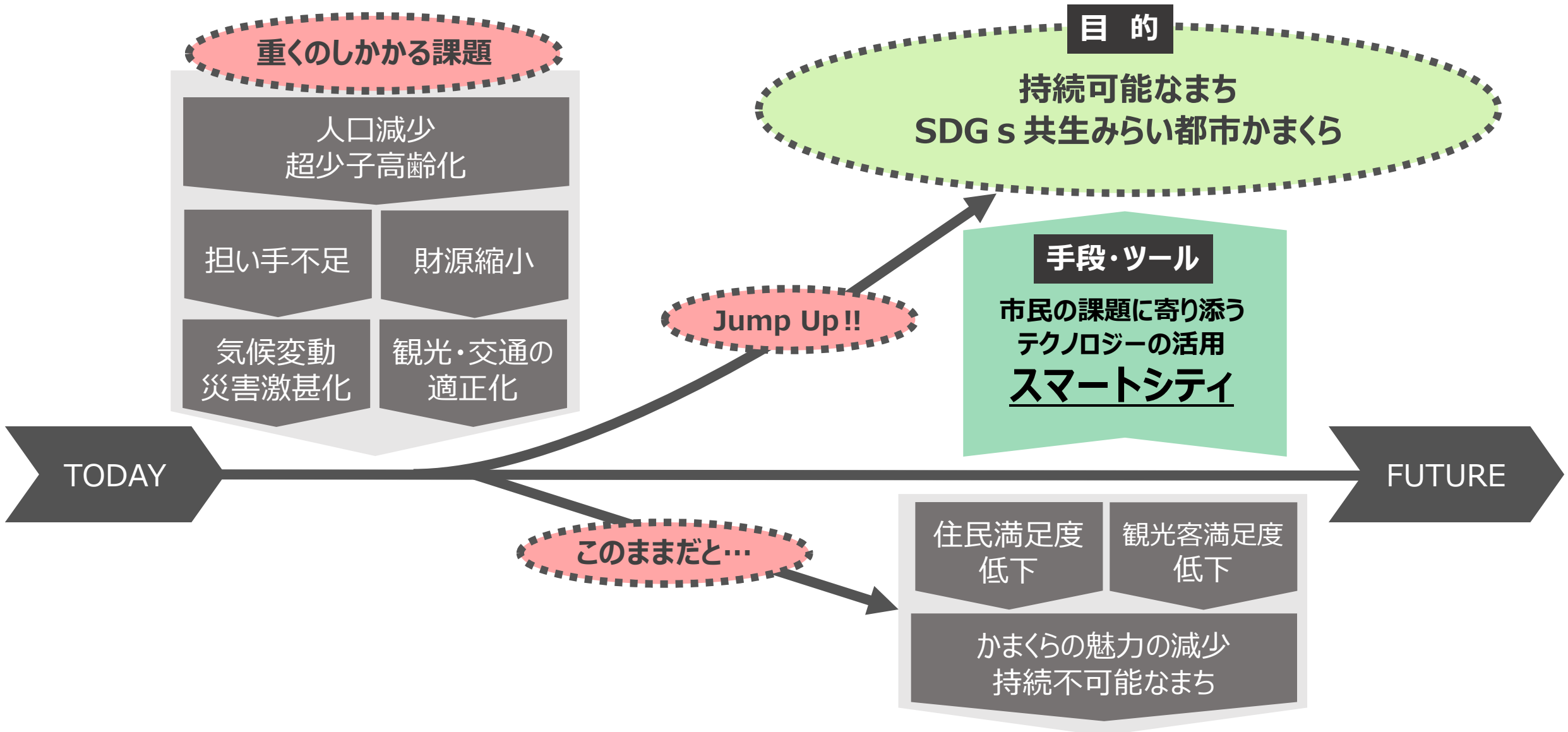
ブラウンフィールドでの取組の知見を、今後開発が進む深沢地区の新たなまちづくりに生かす

2

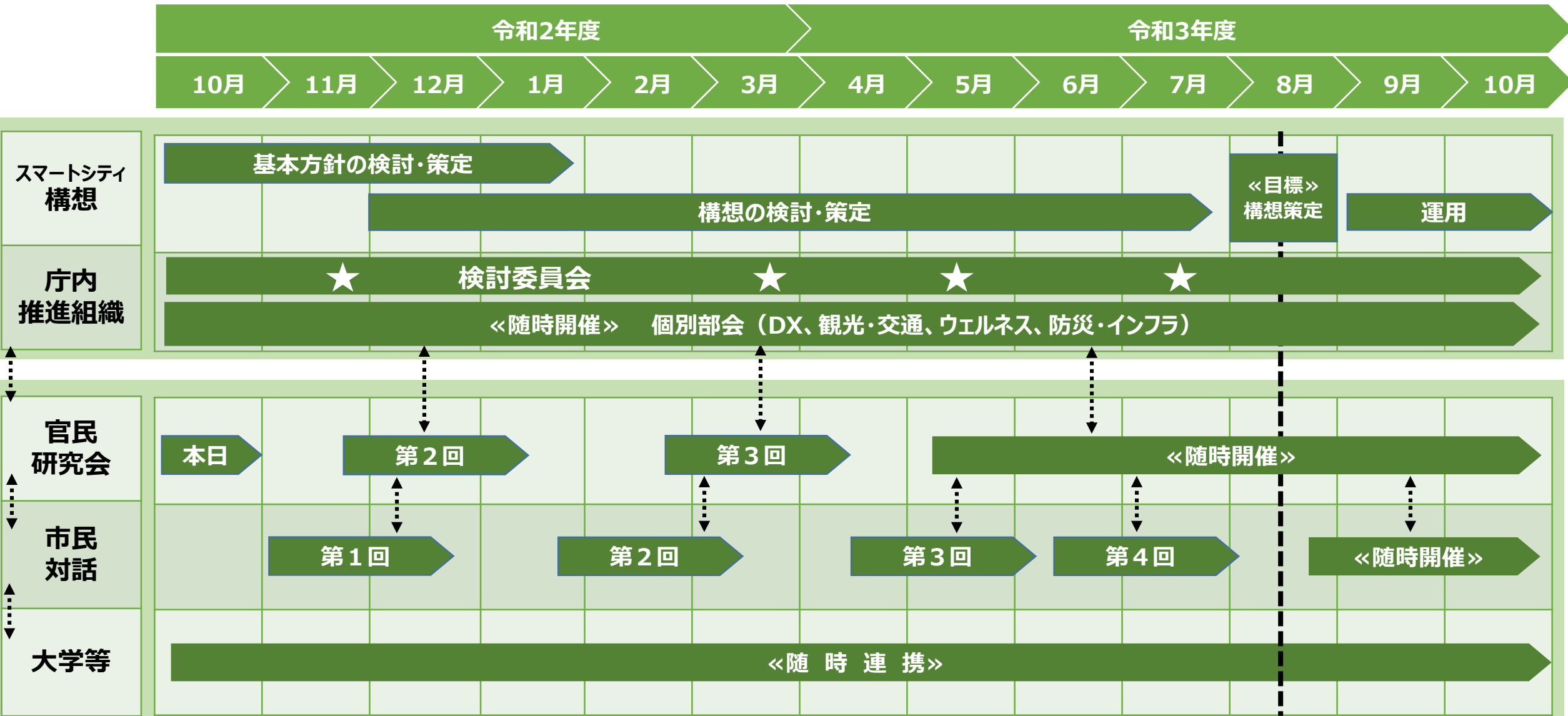
さらに、深沢のまちづくりの成果をブラウンフィールドにフィードバックし、グリーンフィールドとブラウンフィールドの立体的な取組みを進める



SDG s 共生みらい都市かまぐらの実現



今後のスケジュール（想定）



※本資料は、鎌倉市における地域課題と、その解決策としてのスマートシティの方向性等について、検討中の内容を取りまとめたものであり、記載内容は決定事項ではなく、実現を担保するものではありません。